

最近よく耳にするジェネリック(後発)医薬品。  
実際のところ服用するにおいてどうなの??そんな疑問をまとめてみました。

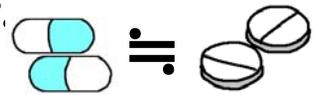
## ジェネリック医薬品とは?

既に販売されている薬(先発品)と同じ効能・効果、用量・用法で、違う製薬会社さんが作っている特許の切れた医薬品の事です。1つの先発品を発売するにあたって**開発費約500億円、開発期間10~20年**かかるのに対し、後発品にあたっては**開発費約10億円、開発期間3~4年**と短くなっているために、患者様にお安く提供できるというわけです。

## 先発品とどうちがうの?

有効成分は同じです。ただし、全く同じようには効果が出ない場合もあります。それは添加物、大きさ、形などが違うからなんです。なので先発品から後発品に切り替えることで、人によっては効果に差が出ることもあります。また、承認申請にあたっては方法が違います。

一緒じゃないのかも!?



## 後発医薬品の承認申請方法は?

新薬(先発医薬品)の承認申請には規格・試験方法、安全性、毒性・催奇形性、吸収・分布・代謝・排泄に関するたくさんの試験を行う必要があります。ところが、後発医薬品に関しては、規格及び試験方法、溶質加速試験、生物学的同等性試験(※1)の**3種のみ**の申請となり、毒性試験が免除されていることから問題があるとの指摘もあります。

## 海外ではどうなの?

日本では、なかなか後発医薬品が浸透しませんが、海外では既に広く使われ始めています。国別使用量は以下の通りです。

アメリカ	63%	イギリス	59%	2006年度(※2)
カナダ	61%	ドイツ	56%	
フランス	39%	日本	16.9%	

※1生物学的同等性薬が体の中でどのように体をめぐって、どのように体から出て行くかを調べる試験のこと。

## これから出るジェネリック!

抗がん剤やインスリンなどはとても高額な医薬品です。1つ1万円を超える薬剤もあるんですよ。そんな中、とある製薬会社さんから抗がん剤であるイリノテカン(一般名)のジェネリック医薬品が発売されることになりました。今まで1瓶(2ml)8000円を超えていたものです。毎日使用するものですから、少しでも安くなれば負担が楽になるかもしれません。ですが、これも安全と品質を良く見極めて使用することが大切です!



後発医薬品が普及している国もありますが、安かろう、悪かろうではだめですよ。そのために、**後発医薬品に対する正しい知識を持って自分がどの医薬品を必要としているのかを見極めて選択することが大切**ですね。なかよし薬局では、いくつかの後発医薬品もご用意はしています。患者様のご希望に対して取り寄せも行ってはおりますが、品質と安全性より**先発医薬品の提供を推奨**しております。